

平成25年度神奈川県サービス管理責任者研修及び  
児童発達支援管理責任者研修実施要綱

1 目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業者等において、サービス管理責任者の業務に従事する者、及び児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業者等及び指定障害児入所施設等において、児童発達支援管理責任者の業務に従事する者を対象として、障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得し、資質の向上を図ることを目的とする。

2 実施主体  
神奈川県

3 研修の対象者

4(2)の表中「対象となる事業等の種類」に掲げるいずれかの事業に従事する者（予定の者を含む）であって、次のいずれかに該当する者

- (1) 神奈川県内に所在する指定障害福祉サービス事業者においてサービス管理責任者として配置される予定の者（既にサービス管理責任者として配置されている者であって、サービス管理責任者研修を修了していない者を含む。）
- (2) 神奈川県内に所在する指定障害児通所支援及び指定障害児入所支援の事業所等において、児童発達支援管理責任者として配置される予定の者（既に児童発達支援管理責任者として配置されている者であって、サービス管理責任者研修の児童分野を修了していない者を含む。）

4 研修内容

(1) 研修カリキュラム

- ア サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の役割に関する講義（共通）
- イ アセスメントやモニタリングの手法に関する講義（分野別）
- ウ サービス提供プロセスの管理に関する演習（分野別）

(2) 研修の対象となる指定障害福祉サービス等の種類、募集定員

分 野	対象となる事業等の種類	募集定員
介護	療養介護 生活介護	150人
地域生活（知的・精神）	自立訓練（生活訓練） 共同生活援助 共同生活介護	150人
就労	就労移行支援、 就労継続支援（A型・B型）	100人
地域生活（身体）	自立訓練（機能訓練）	10人
児童 (児童発達支援管理責任者研修)	児童発達支援、医療型児童発達 支援、放課後等デイサービス、 保育所等訪問支援、	100人

	福祉型児童発達支援センター、 医療型児童発達支援センター、 福祉型障害児入所施設、医療型 障害児入所施設	
合 計		510人

(注1) 上記に掲げるサービス種類以外の事業は本研修の対象とならない。

(注2) 共同生活援助及び共同生活介護については、平成21年10月1日から身体障害者も対象に含まれることとなったが、分野については従前のとおり地域生活(知的・精神)とする。

## 5 日程及び会場

### (1) 共通講義

ア 日時 平成25年11月6日(水)10時～17時30分

イ 会場 横浜市泉公会堂

\* サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修にかかわらず全員受講

ただし、すでにサービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修を修了している者が、別の分野の研修を受講する場合は、共通講義の受講は免除され、分野別研修のみの受講とすることができる。

(その場合、受講申込書にサービス管理責任者研修の修了証書(写し)を添付する。)

### (2) 分野別研修(児童発達支援管理責任者研修を含む。)(必要な分野のみ受講)

ア 日時

(ア) 介護分野

平成26年1月14日(火)10時～17時30分

平成26年1月15日(水)9時30分～17時

(イ) 地域生活(知的・精神)分野

平成25年12月9日(月)10時～17時30分

平成25年12月10日(火)9時30分～17時

(ウ) 就労分野

平成25年12月4日(水)10時～17時30分

平成25年12月5日(木)9時30分～17時

(エ) 地域生活(身体)分野

平成26年1月30日(木)10時～17時30分

平成26年1月31日(金)9時30分～17時

(オ) 児童(児童発達支援管理責任者研修)

平成26年1月21日(火)10時～17時30分

平成26年1月22日(水)9時30分～17時

イ 会場

分野	場所
介護分野、地域生活(知的・精神)分野、就労分野、児童(児童発達支援管理責任者研修)	神奈川県総合薬事保健センター ホール
地域生活(身体)	神奈川県総合薬事保健センター 会議室

## 6 受講料及び資料代

受講料は無料とする。ただし、受講に係る教材費等については、資料代として受講者の負担とする。（詳細については受講決定時にご案内します。）

	資料代
共通講義	500円
分野別研修	1 分野 500円

例 1 ) 共通講義 + 1 分野受講 : 1,000円

例 2 ) 共通講義 + 2 分野受講 : 1,500円

例 3 )( 共通講義免除 ) 1 分野別研修のみ受講 : 500円

## 7 申込方法

- ( 1 ) 申込様式 別紙様式
- ( 2 ) 送付方法 郵送 ( ファクシミリ、電子メール、電話による申込みは不可 )
- ( 3 ) 申込期限 平成25年 9 月13日 ( 金 ) ( 当日消印有効 )
- ( 4 ) 送付先 〒 2 4 3 - 0 0 1 4  
厚木市旭町 1 - 9 - 7 旭町三紫ビル 3 0 2  
特定非営利活動法人  
かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク

封筒表面余白に「サービス管理責任者等研修受講申込書在中」と記載する。

## 8 受講者の決定

受講者の決定は、各事業者あてに通知する。

## 9 修了証書

研修の全課程を修了した者に修了証書を交付する。

## 10 その他

別紙【留意事項】を参考とすること。

## 11 問い合わせ先

( 本研修の手続き等に関する問い合わせ先 )

特定非営利活動法人 かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク 〒 2 4 3 - 0 0 1 4 厚木市旭町 1 - 9 - 7 旭町三紫ビル 3 0 2 電話 0 4 6 ( 2 2 0 ) 5 3 8 0 ファクシミリ 0 4 6 ( 2 2 0 ) 5 3 8 1 研修事務局 百武
---

**(資格要件や制度に関する問い合わせ先)**

神奈川県保健福祉局福祉部障害サービス課  
〒231-8588 横浜市中区日本大通1

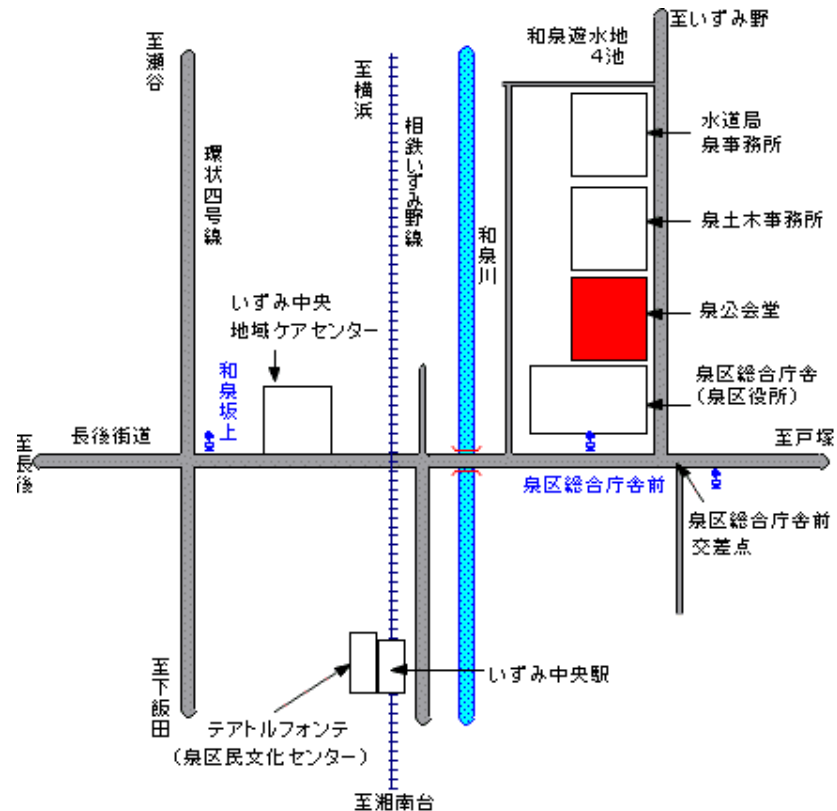
サービス管理責任者研修に関すること  
事業支援グループ 高木、為田  
電話 045(210)4732  
ファクシミリ 045(201)2051

児童発達支援管理責任者研修に関すること  
施設福祉グループ 菴谷(いおや)  
電話 045(210)4724  
ファクシミリ 045(201)2051

## 【会場案内図】

### 1 共通講義

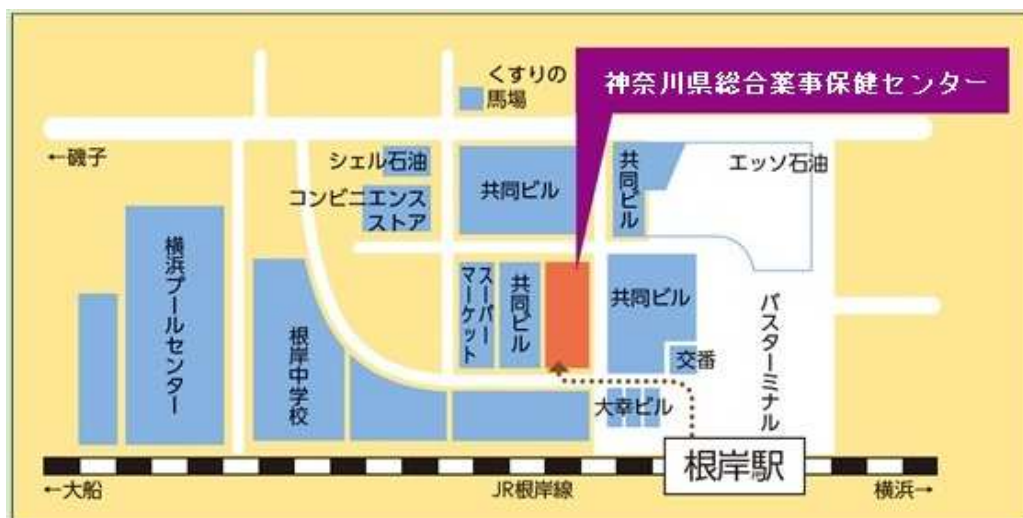
泉公会堂（横浜市泉区和泉町4636-2）



交通：相模鉄道 「いずみ中央駅」下車 徒歩4分  
 又は神奈中バス「戸塚駅」戸塚バスセンターより 戸61・戸64  
 「泉区総合庁舎前」下車 徒歩1分

### 2 分野別研修

神奈川県総合薬事保健センター（横浜市磯子区西町14-11）



交通：JR根岸線 「根岸駅」下車 徒歩2分

## 【留意事項】

### 1 研修の対象者

次の(1)(2)のいずれかに該当する者を本研修の対象者とします。なお、サービス管理責任者等を配置する必要のあるサービス種類は、実施要綱4(2)に掲げるものに限りです。

- (1) 指定障害福祉サービス事業者においてサービス管理責任者として配置されている者又は配置される予定の者
- (2) 障害児通所支援及び児童入所支援を行う事業者等において児童発達支援管理責任者として配置されている者又は配置される予定の者

### 2 共通講義の免除

既にサービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修を修了している方が別の分野の研修を受講する場合は、共通講義(1日)を受講せず、分野別の研修のみの受講とすることができます。共通講義の免除を希望する場合、受講申込書の所定の欄に印を記入し、サービス管理責任者研修の修了証書(写し)を添付してください。

### 3 サービス提供責任者

指定居宅介護事業者等におけるサービス提供責任者は、サービス管理責任者に含まれないため、サービス管理責任者研修の対象者ではありません。

### 4 研修の対象外となる場合の主な例

- (1) サービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者を配置する必要のない事業所の従事者
- (2) 平成27年3月末までにサービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者として配置される予定がない方
- (3) 障害者の直接支援、相談支援などの実務経験( )の要件を平成27年3月末までに満たさない方  
実務経験の業務範囲と必要経験年数については、別紙参考資料2を参照してください。
- (4) 既にサービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修を修了している方。  
ただし、修了していない分野については、必要がある場合に限りお申し込みください。

### 5 経過措置

参考資料1の<経過措置について>を参照してください。

### 6 研修の受講順

サービス管理責任者研修又は児童発達支援管理責任者研修とサービス管理責任者補足研修は、どちらを先に受講しても差し支えありません。

### 7 実務経験証明書

受講申込書に実務経験証明書を添付する必要はありません。実務経験証明書は、指定障害福祉サービス事業者又は指定障害児通所支援事業者等の指定申請を行う場合及びサービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者の変更を行う場合に必要となります。

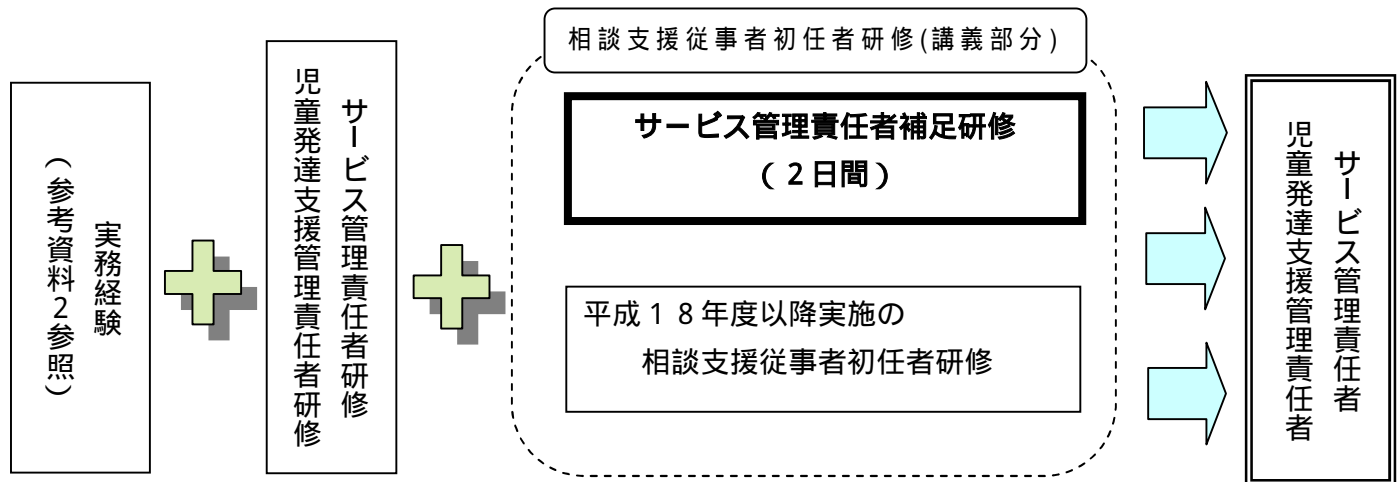
### 8 受講決定

募集定員を上回る人数の申込みがあった場合、受講申込書の内容を勘案の上、募集定員の範囲内で受講の可否を決定します。

# サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の要件について

参考資料 1

サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者として従事するには、厚生労働大臣が定める実務経験と研修の修了が必要です(実施要綱<留意事項>参照)。



## <経過措置について>

### 1 サービス管理責任者

【平成24年4月1日以降の新規指定の事業所】

事業開始後1年間は、サービス管理責任者の研修修了の要件を満たしているものとみなす。事業開始後1年以内に研修を受講し修了しなければ、以後サービス管理責任者不在となり、減算対象となる。なお、多機能型事業所、特定基準該当障害福祉サービス事業所、複数の昼間実施サービスを行う障害者支援施設(以下「多機能型事業所等」という。)については、事業開始後1年間に当該事業所等において提供されるいずれかの障害福祉サービスのサービス管理責任者の研修を修了している場合は、事業開始後3年間は、すべての障害福祉サービスの研修修了の要件を満たしているものとみなす。

【平成24年3月末までに指定されている事業所】

多機能型事業所等については、平成25年3月31日までの間に当該事業所等において提供されるいずれかの障害福祉サービスのサービス管理責任者の研修を修了している場合は、平成27年3月31日までの間は、すべての障害福祉サービスの研修修了の要件を満たしているものとみなす。

### 2 児童発達支援管理責任者

児童発達支援管理責任者は、障害児支援に関する専門的な知識・経験があつて、個別支援計画の作成・評価などの知見・技術があることが必要と考えていることから、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくサービス管理責任者の要件と同じく、一定の実務経験と児童発達支援管理責任者研修及び相談支援従事者初任者研修(講義部分)の修了を要件とする。

ただし、施行後直ちに、研修を修了した者を確保することが困難な場合があるので、**施行後3年間(平成27年3月31日までを予定)においては、実務経験を有する者のうち、児童発達支援管理責任者研修及び相談支援従事者初任者研修(講義部分)を修了していなくても、この3年間で研修を修了することを条件として、児童発達支援管理責任者の業務を行うことができる経過措置を講ずる。**平成27年3月31日までに規定の研修を受講し修了しなければ、以後児童発達支援管理責任者が不在となり、減算対象となる。また、過去にサービス管理責任者研修(児童分野)を修了している者については、児童発達支援管理責任者研修を修了しているものとみなす。

サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の要件となる実務経験の範囲と必要経験年数

内は、別に神奈川県として実務経験に含める業務の範囲

業務の種類	業務の範囲	必要経験年数
相談支援業務	<p>ア 相談支援事業に従事する者</p> <p>地域生活支援事業 障害児相談支援事業 身体障害者相談支援事業 知的障害者相談支援事業</p>	5年以上
	<p>イ 相談機関等において相談支援業務に従事する者</p> <p>児童相談所 身体障害者更生相談所 精神障害者社会復帰施設 知的障害者更生相談所 福祉事務所 発達障害者支援センター 保健所 市町村役場</p>	
	<p>ウ 施設等において相談支援業務に従事する者</p> <p>障害者支援施設 障害児入所施設 老人福祉施設 精神保健福祉センター 救護施設及び更生施設 介護老人保健施設 地域包括支援センター</p>	
	<p>エ 就労支援に関する相談支援の業務に従事する者</p> <p>障害者職業センター 障害者就業・生活支援センター</p>	
	<p>オ 特別支援教育における進路指導・教育相談の業務に従事する者</p> <p>盲学校 聾学校 養護学校</p>	
	<p>カ 医療機関において相談支援業務に従事する者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 社会福祉主事任用資格を有する者 (2) 相談支援従事者研修修了者 (3) 国家資格等 1 を有する者 (4) 上記アからオに掲げる業務に1年間以上従事した者</p>	
	<p>キ その他これらの業務に準ずると都道府県知事が認めた業務に従事する者</p> <p>身体障害者療護施設、身体障害者福祉ホーム、身体障害者授産施設、身体障害者福祉センター 知的障害者授産施設、知的障害者通所寮、知的障害者福祉ホーム 知的障害児施設、第一種自閉症児施設、第二種自閉症児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設(入所、通所)、肢体不自由児療護施設、重症心身障害児施設、指定医療機関(肢体不自由児、重症心身障害児) 知的障害者地域生活援助、精神障害者地域生活援助 地域就労援助センター 市町村から補助または委託を受けている作業所等 小学校、中学校の特別支援学級のいずれかにおいて主に相談支援の業務に従事した者</p>	



業務の種類	業務の範囲	必要経験年数
直接支援業務	ア 施設及び医療機関等において介護業務に従事する者 障害者支援施設 ・身体障害者更生施設 ・身体障害者療護施設 ・身体障害者福祉ホーム ・身体障害者授産施設 ・身体障害者福祉センター ・精神障害者社会復帰施設 ・知的障害者デイサービスセンター ・知的障害者更生施設 ・知的障害者授産施設 ・知的障害者通勤寮 ・知的障害者福祉ホーム 障害児入所施設 老人福祉施設 介護老人保健施設 療養病床 障害福祉サービス事業 障害児通所支援事業 老人居宅介護等事業 保険医療機関 保険薬局 訪問看護事業所	10年以上
	イ 障害者雇用事業所において就業支援の業務に従事する者 特例子会社 重度障害者多数雇用事業所	
	ウ 盲学校・聾学校・養護学校における職業教育の業務に従事する者 盲学校 聾学校 養護学校	
	エ その他これらの業務に準ずると都道府県知事が認めた業務に従事する者 ・改正前の身体障害者居宅介護、知的障害者居宅介護、児童居宅介護、精神障害者居宅介護、身体障害者デイサービス、児童デイサービス ・知的障害児施設、第一種自閉症児施設、第二種自閉症児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設(入所、通所)、肢体不自由児療護施設、重症心身障害児施設、指定医療機関(肢体不自由児、重症心身障害児) ・知的障害者地域生活援助、精神障害者地域生活援助 ・市町村から補助または委託を受けている作業所等 ・小学校、中学校の特別支援学級のいずれかにおいて主に直接支援業務に従事した者	

業務の種類	業務の範囲	必要経験年数
有資格者等	ア 上記 の直接支援業務に従事する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 社会福祉主事任用資格を有する者 (2) 訪問介護員2級以上に相当する研修を修了した者 (3) 保育士 (4) 児童指導員任用資格者 (5) 精神障害者社会復帰指導員任用資格者	5年以上
	イ 上記 の相談支援業務及び の直接支援業務に従事する者で、国家資格等 1による業務に5年以上従事している者	3年以上

1 国家資格等とは、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、視能訓練士、義肢装具士、歯科衛生士、言語聴覚士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、管理栄養士、栄養士、精神保健福祉士のことをいう。

注)ここで、1年以上の実務経験とは、業務に従事した期間が1年以上であり、かつ、実際に業務に従事した日数が1年あたり180日以上であることをいうものとする。例えば、5年以上の実務経験であれば、業務に従事した期間が5年以上であり、かつ、実際に業務に従事した日数が900日以上であることをいう。